

＜調査結果報告＞

消費意識と消費行動の変化に関する調査（2025 年 5 月）

三重県内の事業所で働く人を対象に、「ここ最近の消費に関する意識や行動の変化」について調査しましたので、結果を報告します。ご回答いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

【担当】株式会社百五総合研究所 地域調査部 谷ノ上（たにのうえ）

三重県津市岩田 21 番 27 号 TEL059-228-9105、080-6961-5358

【調査概要】

- 調査期間：2025 年 5 月 20 日～5 月 30 日
- 調査対象・回答数：三重県内の事業所で働く 216 人

【調査結果】

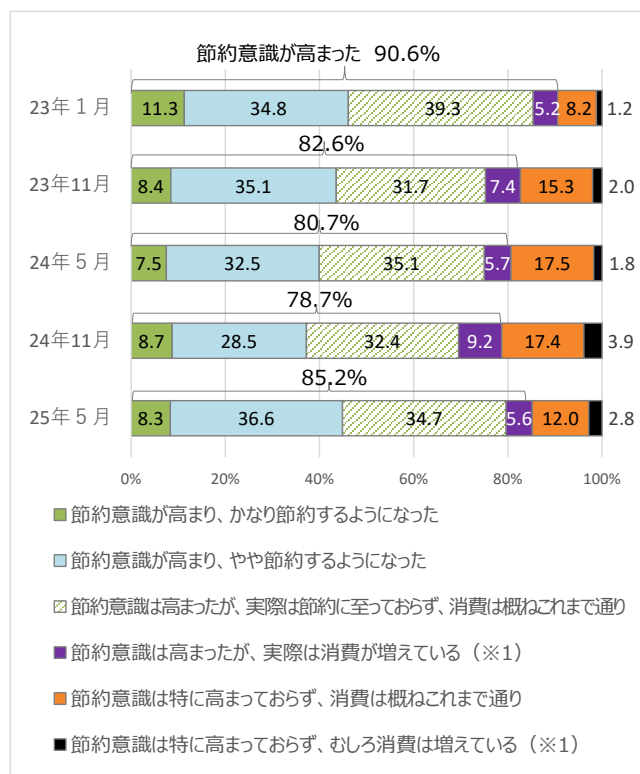
◆節約志向高まる

三重県民の節約志向が高まっている。「ここ最近、節約しようあるいは節約した方が良いという意識が高まった」人の割合は、25 年 5 月時点で 85.2%に上り、24 年 11 月の 78.7%から増加した。

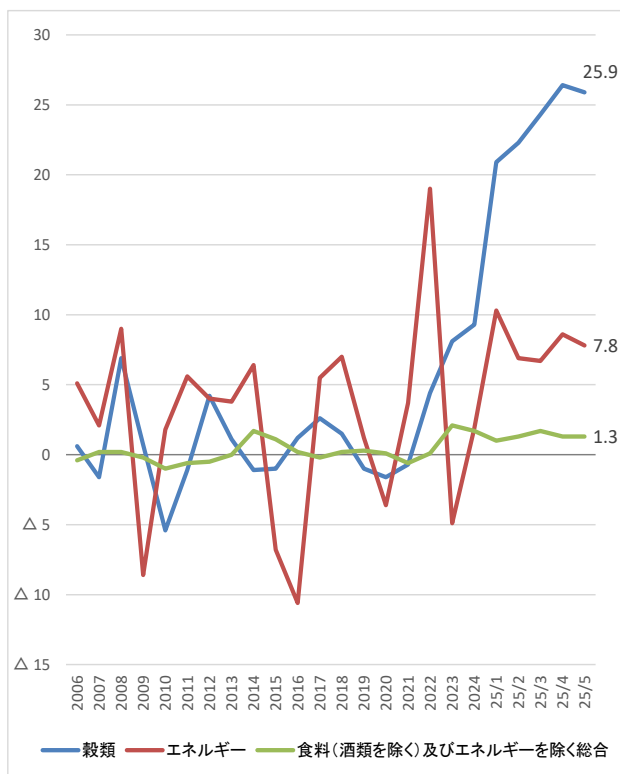
実際に節約している人も増えた。「かなり」あるいは「やや」「節約するようになった」人の割合は合わせて 44.9%となり、24 年 11 月の 37.2%を 1 割近く上回った。

特に、24 年 10 月以降、コメを含む穀類の価格（総務省・消費者物価指数）は大きく上昇しており、その影響が大きいとみられる。ただ、必需品である「主食」の値上がりはそれ以外の節約につながっているようだ。調査では、最近、特に節約しているものとして、「外食・テイクアウト」、「レジャー費」、「光熱費」、「アパレル品」、「交際費」などが多かった。消費を支えるには所得増が必要だが、企業では前年度を上回る賃上げを継続しており、仕入価格高も加わる中、一層の賃上げは容易ではない。国は、食料品やエネルギーなど、よりの絞った負担軽減策の検討が必要だ。

■最近の節約意識と消費行動の変化

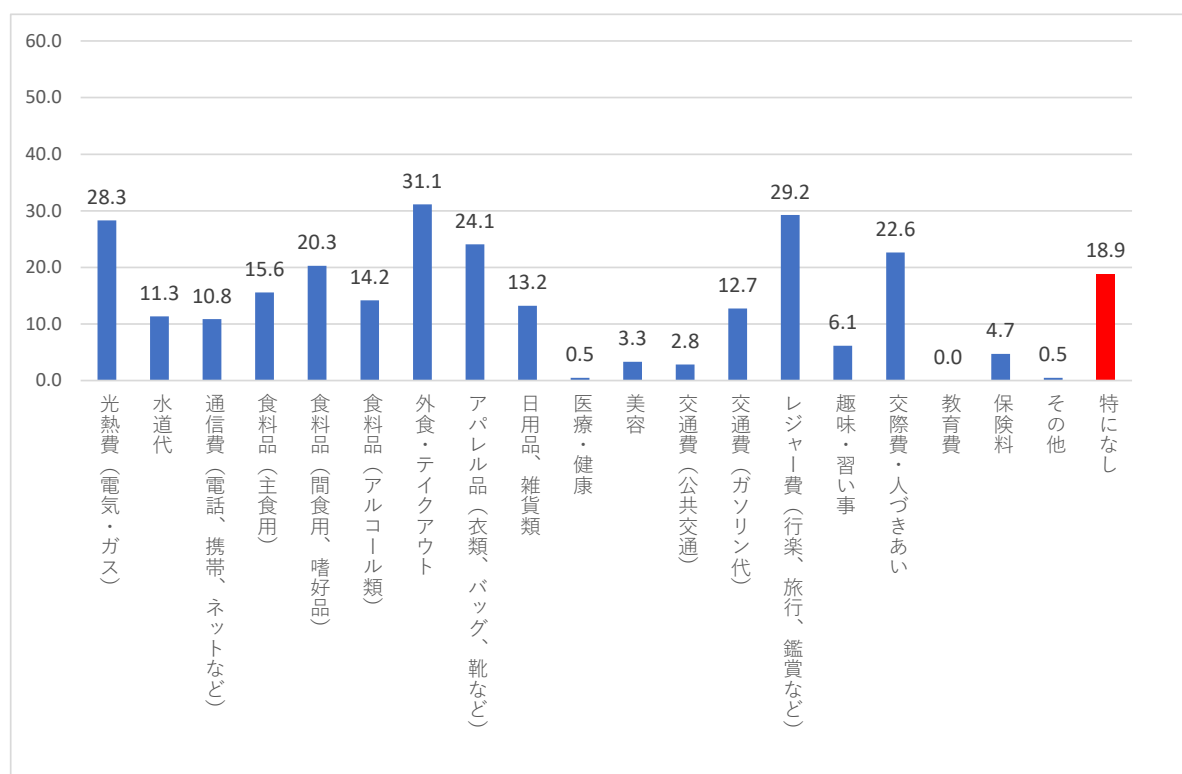


■穀類などの消費者物価指数（前年比、津市）



（※1）物価高による増額の影響分は除く。※四捨五入の関係で内訳の集計と合計値が一致しない場合がある。

■最近、特に節約しているもの・こと



以上